



H28 12.7

今月のキーワード

子どもと共に授業づくり

無解答の原因を探る

子どもと共に授業づくり

11月のゆうがおCAFÉでは、Word Bookを使って3ヒントクイズのデモレッスンを行いました。早速、石橋北小の渡邊詠美先生が授業で活用してくださいました。

<活動の流れ>

- ① I can see . . . の文を使って、出題者は自分が開いているページからヒントを3つ出す。
- ② 児童は3つの単語から、絵を想像する。(一人で考える時間。本は開かない。)
- ③ グループに1冊配布した本を一齐に開き、協力して該当ページを探す。
- ④ 答えのページが見つかった班は挙手。全ての班が見つけれ終わったら、答え(ページ)を確認。
- ⑤ 確認として、先生が再度3つの単語を発音し、児童は絵を指さす。

<活動の様子>

① の場面



③ の場面



⑤ の場面



②の場面で、児童が一人で考える時間を確保したことで、主体性が生まれました。⑤の活動を入れることで、全ての児童が理解できていたかを確認することができました。一人一人の学びが保障された授業でした。

<渡邊詠美先生 授業後の感想から 一部抜粋>

私自身、英語に自信が無いので、外国語の授業をすることが不安でした。ゆうがおカフェに参加する中で、ALTの先生方にClassroom Englishを教えてもらったり、他の学校の先生方と会話をしたりして、「私にもできるかもしれない」という気持ちが少しずつ出てきたところでの授業でした。私の慣れない英語ですが、躓きながらも一生懸命やると、子ども達が「先生も苦手なことあるんだ」「先生も頑張っているんだね」と励ましてくれ、私の英語でも聞き取ろうと努力してくれます。

そんな子どもの姿を見ていると、英語が苦手だからといって、T1での授業を躊躇しているのは、どこか間違っているような気さえしてきました。



各学校で授業を参観させていただいている中で、このようなお手紙をいただき、私自身にとっても励まされた言葉でした。お互いに刺激し合いながら、共に授業力アップしていきましょう。

無解答の原因を探る



前回に続き、とちぎっ子学習状況調査（中2）からの市全体の傾向と分析です。

無解答率の高かった問題についての原因を探り、生徒の実態に応じた指導の工夫改善をよろしくお願いいたします。

●設問8（2）より

Do you play any sports? という質問に対して何と答えるか、英文（2文）で答える問題。

解答例：**Yes, I play baseball. I' m a member of the baseball club.**

1 文目無解答率（1 文目が書けなかった）11.0%

2 文目無解答率（1 文書いて、2 文目が書けなかった）20.9%

○確認したい力 場面や状況に応じた英作文

○考察

・2文目無解答率は20%に上り、決して低い割合とは言えない。日頃の言語活動において、意味のあるやりとりを重視し、コミュニケーションを円滑に図るための指導を充実させたい。

○授業改善の視点 Sunshine English Course 1 教科書 P32～33、37 が関連ページ

①内容重視のコミュニケーション活動を行いましょう。

☆相手の質問に対して Yes/No + 1 での応答を、コミュニケーションの基本として定着させましょう

例) Q: Can you play tennis?

A: Yes, I can. I can play tennis. I practice it every day. ← +1 文

↑ここまでは小学校で学習しています。

※新出文法だけに固執せず、既習事項を織り交ぜながら活動させることが大切です。

☆ペアで自由に会話を続ける活動を取り入れてみましょう。

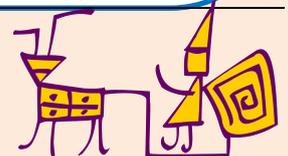
1つの話題について会話を続ける活動を取り入れましょう。まずは教師が例を示し、会話を広げるポイント（疑問詞の使い方等）についても確認することが大切です。

②4技能をバランスよく取り入れた活動を行いましょう。

☆「書くこと」の力を付けようとして「書く」活動だけに組み込ませてはいないでしょうか。「読む」「聞く」「話す」「書く」活動を関連させ、バランス良く4技能を取り入れながら、総合的に英語の力を付けていきましょう。



*** サンタの乗り物はトナカイじゃない? ****



12月は「クリスマス」、1月は「お正月」、異文化理解の授業にはもってこいの季節です。

各学校のALTの出身国では、どのようにお祝いをしているのでしょうか。授業開始の5分～10分間、ALTの話（リスニング活動）を設定してはいかがでしょうか。また、ALTに自国の祝い方について伝えてみるという活動も可能です。「年越しそば」「初詣」「年賀状」「お年玉」・・・お正月にまつわる話題だけでも、盛りだくさんです。

こんな授業をやってみました！という実践報告がありましたら、是非お聞かせください。

文責：学校教育課 稲葉 亜希恵